

調査報告書

株式会社東京エス・アル・シー

東京都新宿区西新宿 4-32-13

西新宿フォレスト・アネックス 301

御依頼に係わる標記の件について下記の通り報告致します

記

調査対象 ×× × (××× ×××

生年月日 昭和××年×月×日 ××才

現住所 東京都××区×× ××号

職 業 傳×××× 代表取締役

調査事項 1、経歴、人柄及び風評

2、経営する会社の概要

3、人脈及び交友関係

4、生活態度及び素行関係

5、資産及び経済状況

6、暴力団との関係

調査時点 平成××年×月

調査所見

本人が現在代表をつとめる傳××××は宅建業としての都知事免許(知事(×) ××××号)を得ております、平成×年×月×日のその登録書類による本人の経歴書は次のようになっている。

現住所：東京都×××区××××町×××

生年月日：昭和×年×月×日

経歴：昭和×年×月×日～×年×月×日

傳×××× 代表取締役

昭和×年×月×日～

傳×××× 代表取締役

平成×年×月×日～

傳×××× 取締役

平成×年×月×日～

傳×××× 代表取締役

しかし、その前、平成×年×月×日の書類では

昭和×年×月～昭和×年

傳××××

昭和×年×月～

傳××××

昭和×年×月×日～

傳××××に社名変更 代表取締役

平成×年×月×日～

傳××××代表取締役就任

平成×年×月×日～

偽×××取締役に就任

となっていて微妙に違っている。

また本人は××年×月×日生まれであり、偽×××の代表に就任したのは本人が1×才の時ということになる。

未成年者であっても後見人がいる場合は会社の役員に就任することは法律的には可能であるが、×××会社を1×才で設立したということは、にわかに信じがたい。

本人の提出している経歴の中で確認できるのは偽×××だけである。

また本人の経歴には触れていないが、平成××年×月、宗教法人×××(××県×××町大字×××)の代表役員に就任している。

但し当宗教法人の目的及び現況については全く不鮮明で、当地の不動産開発にからんで、全く無活動状況であった休眠法人を買い取ったものといわれるなど不明朗な動きが目立つ。

また本人はかつて元暴力団員であり、現在の不動産業の活動の背景は暴力団関係者や得体が知れない金融業者などがいるともいわれており、人物的には大いに問題があると判断される。

調査結果

1、経歴、人柄及び風評

本人が述べている経歴については、調査所見て述べたとおり疑問が多く、また確認が取れることも多く、その上重要な経歴にもかかわらず

ず、一切触れられていないものもある。

本人が述べている経歴の中で確認できるのは

平成××年×月×日～ 偽×××設立に参画して取締役に就任

平成××年×月×日～ 偽×××代表取締役に就任

だけである。

また偽××× 代表取締役に関しては次のように判明した。

同社は昭和××年×月、東京都×××区×××一丁目で偽×××として設立され、昭和××年×月、東京都×××市×××町×××に移転し、その後、×××市内で2回本店を移転した。

この間××年×月に偽×××と商号変更した。

平成年××年×月東京都××区×××町に移転。同社は不動産業を行っていた。

本人は平成×年頃に代表取締役に就任したと思われる。

しかし、平成××年×月代表取締役（取締役）を退任し、会社は第三者に売却され、本店は×××県××市に移転となっている。本人の経歴の申告とは時期的には違うが、当社と関わりがあったことは事実である。

明らかにまちがいか、あるいは意図的に虚偽の経歴を述べていると思われるのは昭和××年×月×日～××年×月××日（あるいは昭和×年×月～昭和××年）の偽×××代表取締役の件である。

既に30年以上前のことであるが、少なくとも当時の首都圏の電話帳には同名の会社が見つからない。また関東一円に拡げても同名の会社はいくつかあったようであるが、本人が代表をつとめていた会社は見つかなかった。

しかも前述のように当時 1×才（又は 1×才）の本人が×××会社の代表取締役に就任していたというのは、とうてい事実とは思われない。なお本人が経歴から故意に落としているのではないかと思われる事項に、宗教法人の代表役員に平成××年×月×日就任しており、登記上は現在も代表を続いていることになっている。

もう一つ××××開（×××市××区××丁目××番×号）の取締役であったことを落としている。

本人は同社の経営が悪化したうえに内紛がおこり、当時の代表取締役や他の役員が××地方裁判所から職務執行停止の決定を受けた時、平成×年×月×日取締役に就任していた。

つまり表向きは再建のために取締役に就任したということであったが、実際には内紛と経営悪化に乘じた乗っ取りであった。（但し同社は平成××年×月×日破産宣告を受、平成××年×月×日、破産宣告となつた）

以上の様に、本人にとって都合の悪い経歴は隠し、現在の開××××の取締役にいたる経過を虚偽や不鮮明で確認が出来なかつるものでつなぎ合わせており、当然ながら疑惑のある人物と判断しても間違いないと思われる。

2、経営する会社の概要

本人がつとめる開××××の概要は次の通りである。

①登記事項

商 号 株式会社 ××××

本 店 東京都×××区×××丁目×番×号

設 立 平成×年×月×日

- 目的
- 1、不動産の売買、賃貸借、仲介及び管理
 - 2、不動産、建築に関するコンサルタント業
 - 3、不動産の鑑定業務
 - 4、建築工事・土木工事の設計、施工
 - 5、前記各号に附帯する一切の業務

資本金 ××××万円

役 員 代表取締役 ×× ××

※設立以来の取締役であった×× ××、×× ××は平成××年×月×日辞任、監査役であった×× ××も平成××年×月に辞任し、役員は×× ××1人だけとなつた。従つて××年×月×日取締役会は廃止となつた。

②既往の業績について

所管庁には平成××年×月×日～××年×月×日の一期間の決算書が提出されている。

その決算書の内容は次の通りである。

比較貸借対照表 単位円

資産の部		負債の部	
(流動資産)	-----	(流動負債)	-----
現金預金	-----	未払費用	-----
立替金	-----	前受金	-----

前渡金		預り金	
仮払金		(負債合計)	
(固定資産)			
建物附属設備			
車輌			
減価償却累計			
工具・備品			
敷金		資本の部	
出資金		資本金	
同業団体分担金		剰余金	
絵画		(資本合計)	
同業団体加入金			
資産合計		負債及び資本合計	

売上高	
売上原価	
(総利益)	
販売費及一般管理費	
(営業利益)	
営業外損益	
営業外収益	
(受取利息及配当金)	
(雑収入)	
(経常利益)	
特別損益の部	
特別利益	
(前期損益修生益)	
特別損失	
(前期損益修正益)	
(貸倒損益)	
当期利益金	
前期繰越損失	
当期末処理損失	

比較損益計算書(H.××,×,×～H. ××,×,×) 単位円

経常損益の部	
営業損益	

なお具体的な決算書の内容についての確認や平成××年×月期の決算の内容、更には現在行っている営業内容などについての取材を申し入れたが、“会う時間もない”と完全に拒否された。

偽××××に関しては×××区××××の土地×××坪を偽××××(××市××××)をダミーにして平成××年に取得し、××××銀行(××××支店)から×××億円以上の融資を受けたという情報がインターネットを通して流出している。

この件についても偽××××は取材を拒否しているためコメントを得ることは出来なかった。しかし前述した様に同社の決算書を見るかぎりではそういったことを裏付ける材料は、融資の件を含めて見られない。従って現状では土地取引に関してそのような噂が一部に流れているということは事実であるが、その真偽を確かめるわけにはいかなかつた。

3、人脈及び交友関係

本人のこれまでの経歴の中で手がかりが得られた偽××××、偽××××、××××偽、××××における人脈を追うと不動産業として働いているが、背後に暴力団関係者につながる不動産業者が見え隠れしていることと、経営は破綻に瀕した会社に再建屋として乗り込んでいることなど不明朗な人脈と関わりがあることが指摘されている。

偽××××が××区××××町に本店を置いていた時(平成××年×月×日～××年××月××日)には、当所には暴力団関係者が出入していたという。

前述した様に偽××××が×××区××××の土地を暴力団関係者らをダミーにして土地を購入し、×××億円以上の金を動かしたというインターネットの情報については、決算書上では確認できないが、あるいは偽××××を通じて行った可能性がある。

また××××についても不審な点が多い。

当宗教法人の登記は次のようにになっている。

名 称 ×××××××

主たる事務

×××県××××町大字×××

設 立 昭和××年×月×日

目的等 この法人は××××神並びに××××神を本尊とし、×××の教義を広め儀式行事を行い、超宗派的観点に立って信者を教化育成することを目的とし、その目的を達成するために必要な業務及び事業を行う。

役 員 代表役員 ×× ××(平成×年×月×日就任)

但し主たる事務所である×××県××××町大字×××番は×××町の北の端の山の中であり、周囲は人家らしい人家もない地域である。またその掲げてある目的は神道を基調にしているようではあるが、実態は漠としてつかめない。

また当地の土地・建物の所有者は、××××偽なる隣町のゴルフ場の経営などを目的としていた会社であったが、平成××年×月×日株主総会により解散となっている。

ゴルフ場の開発などを当地で行う計画であったが、バブルが崩壊して途中で計画が頓挫してしまったものである。

××××は同社が昭和××年×月×日に新築した居宅神殿を法人の主たる事務所にしているものであるが、当時から当地に於いて宗教活動をやっていたことはなく、地元の××××町の住民も××××の名前す

ら知らないという状況である。

平成×年になって突然東京に居住している本人が当教会の代表役員に就任したもので、もちろん地元では×× ××の名前を知る人はいない。

しかし、ゴルフ場開発をめぐり不動産ブローカーが群がり、またバブル崩壊後はゴルフ場開発の整理、敗戦処理をめぐり、アングラ金融業者が暗躍していた。

本人もその整理をめぐって利害関係者を装うために、有名無実であった当宗教法人を買収したものと思われる。

以上の様にあやしげな不動産開発に関しては岐阜県の山の中のことであっても、情報が得られるという人脈があることは事実である。

但し、これまで述べた様にまともな企業人脈ではなく、背後にいわくある人脈であることがわかる。

3、生活態度及び素行状態

偽×××の登記上の本人の現住所は東京都××区××××丁目××号室となっているが、平成××年×月×日に××区××××丁目××××号に転居している。

当所において長男×××(平成×年×月×日生 ××才)と二人で生活している。

当マンションはJR××××駅から徒歩5分、×××と××××に挟まれた一角にある。目の前には×××が広がる高級賃貸マンションである。

本人家族は最上階である××階の1室に居住していて家賃は50万円

は下らないといわれている。

しかし、その生活状況は全くつかめない状況で、玄関内には厳重に管理されていて立ち入ることは不可能である。管理人は“居住しているかどうかを含めて一切入居者のことについてお話を聞くわけにはいかない”とのことである。

念のため前住地である××区××× ××××号を訪ねてみたが、当マ

ンションは××階建××世帯が入居している大型マンションである。マンションの管理人は「以前本人と息子さんの二人で入居していました。顔を合わせるのも月に2~3回であったが、本人、息子さんともに変わったところはありませんでした。入居者とのトラブルもなく、また問題がありそうな人物が出入するということはありませんでした」と述べている。

なお本人は居宅を購入したオーナーからの賃借であり、家賃についても管理人としてはタッチしていないので不明ということであった。

4、資産状況

本人の前居所、現居所とともに賃借物件である。また本人が代表をつとめる偽×××、×××の事務所も賃借物件であり、本人所有の不動産については今回の調査の範囲においては見つからなかった。

噂によれば(インターネット情報)、×××億円以上の不動産取引に関係して大儲けをしたということであるが、そういった噂の裏付けとなるようなデータは見つけることはできなかった。

5、暴力団との関わりについて

本人の経歴等で述べたとおり、またこれまで関与した会社の概況からいって、まともな経営者とは思われず、暴力団関係者と見られる人物が出入りしたりという事実はある。但し、本人が暴力団の組員であるか、準構成員であるか、あるいは元暴力団に籍を置いていたかどうかについての確認は得られないものの、現在でもそういう反社会的団体等との交流があることは事実と思われる。

以 上